

## 令和7年度 第1回磐田市スポーツ推進審議会 会議録

【日 時】令和7年7月30日（水）午後3時から午後4時30分

【会 場】磐田市役所本庁舎大会議室

【出席者】13名

【欠席者】1名

【事務局】6名

【サーベイリサーチセンター】1名

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 会長及び副会長の選任
- 4 会長挨拶
- 5 協議事項
  - (1) 現行計画評価検証について
  - (2) 第2期磐田市スポーツ推進計画・骨子（案）について

### 事務局

資料「第1期磐田市スポーツ推進計画評価検証」

「磐田市スポーツ推進計画概要版」

「磐田市スポーツ意識調査結果概要」に沿って説明

### 委員

全世代のスポーツ実施率が現在59.8%ということですが、40代のスポーツ実施率が39.8%と低くなっています。40代の実施率の目標を50%に設定しているようですが、この数字に近づけるためにどんな取組をしていきますか。

### 事務局

40代の実施率が低いというのは、磐田市だけでなく全国的な課題となっています。要因としては子育てや仕事が忙しく時間がとれなかったりゆとりがなかったりすることが考えられます。

子どもと一緒に参加できる活動や教室を順次実施していきたいと考えています。また、昨年度実施した意識調査からはウォーキングの需要が高いことが読み取れました。商業施設でのウォーキングイベントも実施していきたいと考えております。また、委員さんの中でも提案いただける案がありましたらよろしくお願ひいたします。

### 委員

娘がこの世代であり、2歳と0歳の子どもがいますが、本当に時間がとれないことが見て取れます。小さいころからずっとスポーツに取り組んできて、大人になっても体を動かしていたが子どもができたとたんにスポーツに取り組むことができなくなっています。教室やイベントを数多く取り組んでくれてはいるが、子どもがいると親世代は十分に体を動かすことができません。親世代の運動習慣につながる教室やイベントについて改めて考え

てほしいです。

委員長

商業施設でのウォーキングイベントについての参加状況はいかがでしたか。

事務局

商業施設のウォーキングイベントに関しては昨年度延べ1,000人ほどの参加がありました。参加者をみると高齢の方が多かった印象を受けました。また、託児機能付きの大人向けのイベントを開催しましたが、参加者集めに苦慮しました。

委員

磐田市スポーツ協会でもウォーキングイベントを実施しているが、やはり高齢の方がメインとなっています。若い世代、幅広い世代の参加があるといいと感じる。

委員長

磐田市とスポーツ協会が連携していわたスポレクフェスティバルというイベントを秋に毎年実施している。家族連れの参加が非常に多く、親世代も運動への関心を持っていることは感じます。PTAに携わる方はまさに実施率の低い世代になるかと思いますが、学校での活動の現状はいかがでしょう。

委員

学校現場は今やるべきことの整理に取り組んでいます。PTAの行事や活動も減ってきているのが現状であり、保護者と一緒に活動する機会は少なくなっている。

話は変わりますが、学校の周りの道路や街灯の整備が整っていないところがあり、思い立ったときに手軽にウォーキングできないといった現状があるのではないかと感じています。地区ごとにウォーキングマップを作成したりムーブメントを起こしたりするような仕掛けが必要ではないかと思っています。ウォーキングやジョギングはスポーツ人口が多い種目ですので、イベントで終わらすのではなく日頃から取り組むことができる環境を整えることが大切ではないでしょうか。

委員

私が心配していることとしては部活動が地域移行していくことです。子どもたちの運動機会の減少につながるのではないかと懸念しております。磐田市は特に自然や環境に恵まれていると感じていますので、親子で気軽にスポーツや運動に取り組むことができるまちづくりができるとよいのではないかと感じています。

資料の中で「健康」ではなく「健幸」という言葉が使われている意図を教えてください。

事務局

磐田市では「健幸いわた21」という本市の健康づくりの指針がありますので、「健幸」という言葉を用いています。

委員

子どもたちが取り組む種目や競技については、子どもが選択権をもっているというより

も親がやらせてあげられるかどうかの要因が大きいと日頃から感じています。今後部活動が地域移行されると活動場所までの送迎が必要となってくるのではないかと感じています。通うことができる子は続けられますが、そうでない子はどうなってしまうのでしょうか。今よりもスポーツの経験格差が広がっているのではないかと懸念しています。

私自身も仕事を定時で切り上げ、ミニバスの送迎をしています。始めた理由は平日に送迎できる習い事がミニバスしかなかったからです。本当にこどもがミニバスをしたかったかどうかというと正直分らないです。本当はもっといろいろな経験をさせたいと思っていますところもあります。親関係なく、こども自身がいろいろなスポーツに取り組んだり続けたりする環境があればよいと感じます。

#### 委員

私たちがこどものころは地域で遊んでいました。遊びの中で体力を向上させ、身体を動かすことが好きになっていました。今では地域にそのような環境がない。競技スポーツとは違い遊びの中で身体を動かすことで延ばすことができる体力もあるのではないかと感じています。

#### 委員長

プロスポーツチームからの視点はいかがでしょう。

#### 委員

ラグビーについてはそもそも中学校部活にラグビーはありません。そのため、磐田合同部活として市内のラグビーをしたい子を集めている。活動場所がゆめりあであり、送迎が大前提となっています。また、レヴズのラグビースクール等についても活動場所への送迎が大きな課題となっています。行政やクラブで協力して打開策を講じることができればと考えています。

さらに、中学校の先、高校年代のこどもたちがラグビーに取り組む環境が磐田市を始め近隣市町にありません。高校では続ける環境がなくやめてしまう子もいます。チームとして高校年代の子たちへのアプローチを検討しています。

#### 委員

ジュビロ磐田として地域移行にどう絡んでいくか相談させてもらったことがあります。また、現在はブロックで分け、スポット的に指導をしています。送迎という課題がないわけではありませんが、できる限り多くの子が参加しやすいような活動に取り組んでいます。

指導者には限りがありますので、マンパワーという点で制限があり難しさを感じているのは事実です。

#### 委員

地域移行が進む背景には少子化があります。「SPO☆CUL IWATA」として複数の中学校で一つの拠点をつくって活動しています。その中で送迎というのは大きな課題でして、近隣の中学校と言ってもこどもたちだけで移動できるわけではありません。また、平日は学校の先生が指導に当たることはできますが、休日となると学校の先生の派遣のハードルは高く、外部指導者を招くしかありません。連携はとっていきますが、平日と休日の指導者が

変わるという課題もあります。外部指導員を招く予算的な課題もあります。基金や助成金を活用しながら進めていきたいと考えています。

ただ、保護者の方の中では部活動がなくなる、という認識の方も多いと思いますが、意外と種目や場所は多くあります。磐田市の教育委員会はYouTubeを作成しています。担当者が直接説明会を開催していますが、周知が足りないという現状もありますので、まずは現状と課題を知っていただければと思っています。

#### 委員長

磐田市の地域移行については文化部含めて非常にうまくいっているという評価を受けており、他市町からの視察も多く訪れているそうです。日本の明治来の大転換を迎えているのではないかと受け取っています。みなさんの理解を得ながら進めてもらえればと思います。

先ほどウォーキングについて話が出ていましたが、市内のウォーキング箇所等まとめたものはあるのでしょうか。

#### 事務局

市民の方がより気軽にウォーキングに取り組んでもらえるような施策としてマップ作りに着手しています。マップ作りの第一歩として磐田市にはどのようなマップがあるのか市内に情報収集を呼び掛けたところ、観光や歴史的なものも含め想定以上のマップがあることが分かりました。同時に、いずれにしても周知や活用方法について課題があることも分かりました。ウォーキングやジョギングというスポーツは市民からの需要も高いものですので、みなさんがより気軽に手軽に楽しんでもらえるようなマップを作成していきたいと考えております。

#### 委員長

かぶと塚公園はかなりの人に活用してもらっています。磐田市にはそのようなコースも複数あります。ぜひ周知してもらえたらと思います。

#### 委員

先ほども話に上がりましたが、磐田市には山あり海あり川ありと、いろいろと歩く場所があります。一人で行うスポーツには取り組みやすい環境は整っています。一方でチームや集団、仲間とスポーツに取り組む環境というのはなかなかありません。スポーツ推進委員と連携して実施している運動教室についても、小さい年代を対象としたものは需要がありますが、対象年齢を上げれば上げるほど募集人数が減っていく現状があります。

#### 委員

小年代で運動やスポーツに接していれば、大人になってからの運動習慣につながるのではないかと感じています。獅子ヶ鼻公園は景色がきれいで美しい自然もたくさんあるので、多くの人に歩いてほしいと思っています。

#### 委員

昨年8月に磐田市に越してきたのですが、磐田市はスポーツのまちだと感じました。磐

田市の紹介の際にはスポーツチームの名前を挙げれば伝わることを実感しました。また、磐田市には自分で調べたりアンテナを高くしたりしていけば環境は整っていると感じます。「観戦はスポーツだ」といったポスターもおもしろいと感じました。一方で周知が足りないとも感じます。作っている、あるんだけど生かしきれていないのではないのでしょうか。

サッカースクールに入るとサッカーしかできない、ラグビースクールに入るとラグビーしかできない、といった風潮があります。しかし、いろいろなスポーツに取り組んだ方がスポーツ有能感が高まるといった研究もあります。今後選択肢がさらに狭まってしまうことが懸念されていますが、スポーツ有能感が低い大人がスポーツに取り組むとは思えません。いろいろな視点でスポーツに取り組む環境を整えていただけるとありがたいと感じます。

#### 委員

プロスポーツチームを生かしたまちづくり、大変素晴らしいと思っています。ジュビロ磐田や静岡ブルーレヴズの一斉観戦も素晴らしい事業であると感じています。

また、今年度はデフリンピック、来年度以降はアジアカップが静岡で開催されます。国際的な大会についても子どもたちに興味・関心をもってもらいたいと考えています。また、それ以降も大きな大会が磐田市で開催される予定です。ボランティア等様々な形で携わっていくことも大事であるかと考えています。

また、障がい者スポーツができるような施設が市内にできるといいかなと思います。もしくは、一体校で使われなくなった学校を障がい者スポーツの拠点として活用してみるのはいかがでしょうか。

#### 委員長

学校施設の活用について話が出ましたが、市内体育施設の空調の現状について説明をお願いします。

#### 事務局

現状アミューズ豊田には空調がついていますが、その他の施設については競技に影響がないような空調システムを検討しております。

#### 委員長

スポーツプラットフォームが始動しているようですが、簡単にねらいについてお話してください。

#### 事務局

スポーツプラットフォームについてスポーツを通じて新たな環境や新たな価値を見出していけないかと考えています。人が集まる場所の創出を目指しています。ただ集まるだけでなく、その都度テーマを設けて結びつきを図っています。

#### 事務局

本日みなさんからいただいたご意見を基に、第2回審議会では数値目標を取り入れたりより具体的な内容を示したりしていきたいと考えます。本日はありがとうございました。